



あなたの犬はがんをなおせるかもしれない
マイクロRNAを用いた悪性黒色腫の新たな治療法

技術分野分類 7603：統合動物科学
技術キーワード B (24)疾患モデル動物
産業分類 E-165：医薬品製造業 E-16：化学工業

内 容	概要	私たちは犬と人の悪性黒色腫の腫瘍細胞で、マイクロRNA-205 という物質が異常に低下していることを発見し、この物質を腫瘍細胞内に入れることで、増殖を抑制できることが分かった。そこで、現在このマイクロRNAを用いた新たな治療法を試みている。
	従来技術・競合技術との比較 (優位性)	悪性黒色腫という腫瘍は犬の口腔内などに発生する極めて悪性度の高い腫瘍で、人の皮膚にも発生するが、現在有効な治療法がない。私たちはこの研究で特殊な化学修飾を施したマイクロRNAを用いて、悪性黒色腫を縮小させることに成功した。
	本技術の有用性	現在は犬の臨床試験を開始したところであるが、最終的には人の悪性黒色腫への応用を目指しており、他の腫瘍や疾患への応用も期待できる。
関連情報 (図・表・写真等)	 <p>悪性黒色腫の治療状況 (治療前、1 週間後、6 週間後)</p>	
適用可能製品	ペットには人に類似した病気が多くあり、これらを人の疾患モデルとして研究することで、がんの新たな予防・治療法へと応用できる。	
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	森 崇 岐阜大学 応用生物科学部 共同獣医学科 准教授
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	岐阜大学 産官学連携推進本部 058-293-2025 / 058-293-2022 sangaku@gifu-u.ac.jp

■知的財産

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2016 年 2 月 17 日